



「過去の災害を知る」ことが災害から身を守るための第一歩！

●9月19日（金）「令和7年度防災スクール」を行いました。和歌山県土砂災害啓発センター 所長 木村 洋郎 様、副主査 嶋田 圭悟 様 を講師に迎え、紀美野町における水害の歴史（昭和・平成）、危機回避行動の在り方（通学時・在校時）、ハザードマップ（紀美野町他）の見方などについて学びました。ハザードマップの演習では、土砂災害の種類は何種類か、美里分校周辺で気を付けなければならない土砂災害とは何か、警戒レベルに伴う避難行動は何か、避難所と避難場所の違いは何かなど、生徒たちはグループに分かれて話し合い、各グループの発表を通じて理解を深めていました。木村さん、嶋田さんから、「今日のまとめ」として、①過去から繰り返されている水害を知ること、②自分の地域の危険を知ること、③避難のタイミングを判断すること、④避難の準備を整えること、そして「今日学習したことを家族やその周りの人にも教えてあげてください。」とお話いただきました。生徒の感想にも「『災害は当たり前を奪う』という言葉が印象に残っています。」「家に帰って非常持出品を必ず準備したいと思います。」など見られるように、他人事ではなく「自分事」として災害対策を見つめ直すことができました。



大阪・関西万博へ行ってきました！ ●9月22日（月）全校生徒による



遠足で「大阪・関西万博」へ行ってきました。当初は9月5日の予定でしたが、天候状況を考慮し日程を変更して実施しました。来場客も多く大変暑い中でしたが、生徒はグループに分かれて、予約なしでも入館できるパビリオンを楽しんだりおみやげを購入したり、楽しんでいました。生涯一度とも言われる万博でしたが、良い思い出になりました。



花いっぱい運動を行いました！ ●9月24日（水）LHRで全校生徒による



「花いっぱい運動」の取組が行われました。今年は ①ジニア、②マリーゴールド、③キンギョソウ、計96株をプランターに植えました。花を植えたプランターは玄関階段や体育館までの周辺に並べています。花言葉を添えて花の紹介をします。①「ジニア（百日草）」…耐病性と耐暑性に優れています。暑さや乾燥、病気に強く、育てやすい品種です。花言葉は「変わらない愛」「絆」「遠くの友を思う」「注意深さ」「幸せ」です。これらの花言葉は、時間が経っても変わらない心や人との強い結びつきを連想させます。ジニアの長い間咲き続ける様子にぴったりの花言葉ですね！②「マリーゴールド（万寿菊、千寿菊）」…草丈20～100cmの暑さに強い一年草の植物です。最盛期は4月～6月、9月～10月頃で、開花期間が長く楽しめます。マリーゴールドは多くの花言葉を持つ花で、ポジティブな意味とネガティブな意味両方を持つのが特徴です。代表的な花言葉は「勇者」「健康」「変わらぬ愛」です。③「キンギョソウ」…花穂を大きく伸ばして金魚に似た色鮮やかな花を咲かせることからキンギョソウという名前がつけました。また、ドラゴンの口にも見えることから別名ではスナップドラゴンとも呼ばれます。花言葉「おしゃべり」は、花の形が口に似ていることから付けられたのではとされています。



10月の主な行事など

- ・ 1日（水）衣替
- ・ 2日（木）～7日（火）中間考査
- ・ 3日（金）PTA役員会
- ・ 9日（木）思春期教室（3年生）
- ・ 10日（金）地域交流ゲートゴルフ大会
- ・ 14日（火）持久走前内科検診（希望者等）

- ・ 17日（金）体育祭
- ・ 31日（金）月例漢字テスト

「令和7年度 文化祭」

- 11月8日（土）美里分校文化祭を行います。内容は、食物バザー（生徒・PTA）、生徒舞台発表、作品展示等を予定しています。詳細については、マンスリータイムズ11月号でお届けします。